

# 生活協同組合 コープあいち 名東センター



所在地：愛知県名古屋市長区猪高町上社字井堀25-1  
 建築面積：2,099㎡  
 延床面積：3,544㎡  
 構造規模：鉄骨造2階建  
 設計：(株)連空間設計  
 施工：建築／(株)岐建  
 電気／(有)サンフィール  
 オープン：平成23年8月

S121

37万人の組合員といっしょに暮らし方を見直しながら環境に配慮した商品・事業を進めている「コープあいち」は、新たにコープの商品を配送する「名東センター」を建設。商品倉庫にはLED照明を中心に採用されています。

食の安全・安心を目指してコープの産直商品とプライベート商品を地域のすみずみまで提供

めいきん生協とみかわ生協が合併して誕生した「コープあいち」は、JAや生産者と県内の産地・産物を守り育て、また独自の検査センターを有し、科学的に食品の安全・品質も確保するなど、食の安全や食料自給、環境配慮の視点で様々な取り組みを展開しています。

新たに完成した名東センターは、街中から山間の集落まで、コープ商品をトラックにて配送する配送センターです。

1階には商品倉庫と冷蔵・冷凍倉庫、それに事務所、2階は会議室などとなっており、環境への取り組みとして、太陽光発電をはじめ雨水タンク、低放射複層ガラス、LED照明など、数々の環境技術が導入されています。

商品倉庫にLED一体形ベースライト直付形を採用し、適正照度を確保しつつ大幅な省エネ・CO<sub>2</sub>排出量を削減

広い面積を持つ1階商品倉庫の照明は、スリムな高効率タイプのLED一体形ベースライト直付形ストレートタイプ(消費電力52W、器具光束4,770lm)を床3.5mに設けたレースウェイに設置。配光は下面カバーによる拡散光で柔らかなあかり空間が得られ、平均照度は300lxが確保されています。これらにより一般的に使用される32WHf蛍光ランプ2灯用器具と比較して、約23%の省エネ・CO<sub>2</sub>排出量の削減を可能としています。また、シャッターが開かれた際、虫が寄りつきにくいLEDの特性が活かされています。

玄関ホールおよび廊下には、LEDダウンライト900シリーズ(消費電力13.1W、器具光束945lm)を採用。100W形白熱電球器具相当の明るさで85%の省エネ・CO<sub>2</sub>排出量の削減が図られています。

1階事務室と2階会議室には、高出力形32WHf蛍光ランプ2灯用直付器具を採用。直付ながらも圧迫感を与えない薄形状となっています。

また、南側の2階会議室には、同器具の昼光利用制御形を使用し、あかりセンサーとの連動で20%～100%の調光を可能とし、適正照度を維持しながら省エネを図っています。



広い面積の商品倉庫にはLED一体形ベースライト直付形ストレートタイプを採用



LED一体形ベースライトは床3.5mに設けたレースウェイに設置



事務室にはFHF32W2灯用器具を採用



会議室のFHF32W2灯用器具による照明 南向きの会議室には調光形を採用



玄関ホールおよび廊下にはLEDダウンライトを均等配置



トイレのLEDダウンライト照明

### 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
室内	LEDベースライト	LEDT-48007W-LD9	57	LED 消費電力:52W
	LEDダウンライト	LEDD-70001FW-LS9	73	LED 消費電力:13.1W
	蛍光灯直付器具	FHT-42404-PA9	123	32WHf蛍光ランプ×2
	蛍光灯直付器具調光形	FHT-42404-PD9	57	